

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成26年10月22日
タイトル	初めての稲刈り！じょうずに鎌が使えたよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成26年10月9日（木）福山市松永町の松永幼稚園年長組87名が、福山市東村町のほ場で稲刈りの農業体験をしました。

このほ場は、水土里ネット福山の組合員の^{かいのあきのり}廻野明倫さんのほ場約17aで、特別栽培農産物として農薬を極力使わないで「ひのひかり」を栽培しておられます。

6月に、このほ場で田植え体験をした子ども達は、今日の稲刈りを心待ちにしていた様子です。

まず、3組に分かれ、1組ずつ鎌の使い方を教えてもらい、子どもと保護者と一緒に田んぼへ入ります。初めて鎌を使う子どもやお母さんたち、最初は恐る恐るだけど、コツを掴むと小気味よく稲を刈り始めました。地域の方も加わって、手を取って刈り方を教えてくださいました。



初めは恐る恐る！



お母さんも一緒だよ！

稲刈りのコツを掴んで、ドンドン刈ってしまいます。なかなか順番がこないのが、最初は座って見ていましたが段々みんな遊びだしました。

大きなミミズやカナヘビを捕まえてくる子がいて、お母さん達から悲鳴があがっていました。

用水路も絶好の遊び場となり、長靴で用水路に入ったり、用水路にいる生き物の観察がはじまりました。



用水路に夢中！なんだろう？



トカゲ？カナヘビ？捕まえたよ！

用水路で遊んでいる子ども達が、草やペットボトルを流して、トンネルをくぐって草などが出てくると大喜びしていました。「これはいけない！」と、用水路へゴミを流すとつまってしまい水が溢れたり、下流へ水が流れにくくなる事を教えました。地域の方が下流に溜まっているゴミをすくいあげて見せてくれました。

子ども達は素直に話を聞き、友達が流そうとしていると「流しちゃダメなんだよ」と教えてあげていました。

今回の稲刈りは、はぎ掛けをせず稲刈機の脱穀機能を使って一気に粃にします。そのため、子ども達が刈った稲を運んで稲刈機へ入れて脱穀しなければいけません。幼稚園の先生やお母さん達も手伝って、刈った稲を全部脱穀しました。



これが意外と大変！



子ども達も応援してます！

脱穀が終わると廻野さんが稲刈機で颯爽と稲刈りです。それまで夢中で遊んでいた子ども達は、稲刈機が動き出すと一斉に注目し、カッコいい稲刈機に興味津々でした。

あまりの速さに保護者からどよめきが起きていました。最後に脱穀した粃が一気に出てくると「すごい！」と声があがりました。



子ども達、釘付けです！



一気に500kgの粃が脱穀されました！

いつもより昼食が遅くなった子ども達ですが、最後まで元気一杯でお世話になった廻野さんへ大きな声で「ありがとうございました」とお礼が言えました。



収穫したお米を使って後日、おにぎりパーティを開くそうで、子ども達から「早く食べたい！」と声があがりました。
廻野さんは「子ども達にも保護者にも特別栽培米を食べてもらいたい」と話されました。

今回の取材では、子ども達が生き物や自然が大好きという事を感じました。

稲刈りをしている時の真剣でやり遂げたという自信に満ちた表情や用水路で遊んだり、虫やカエルを追いかけている時のキラキラした笑顔を見ていて、農業体験が子ども達にとってもいい経験になっていると思いました。

また、用水路での遊び方など、子どもが知らないままに危険な行動をしてしまう事を目の当たりにしました。

今後も水土里ネット福山は、農業体験を通じて農業に関心をもってもらい、日頃の生活のなかで水路等に対する防災意識を高めてもらうよう活動してまいります。